

- 1 だいちくは、一きようめた、学年・学校・組、名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく(と)にきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、このきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

() 月 日 曜日

ぼくのふるさと

神山小 六年 丸野 広幸

ぼくは、屋久島で生まれて、屋久島で育つ

た。そしてぼくは、自然が大好きだ。屋久島

はぼくにとつて、ピッタリな島だ。

ぼくは、よくヤクスギランドや大川の滝に

行くけど、一番お気に入りの場所は、白谷雲

水きゆうた。行く回数はい少ないけど、とつて

ちいんしようにのこつている。小さいころ、

いとこが来た時に行つたけど、そのころのぼく

にはきつすきて、もののけの木には行けなか

つた。

そしてぼくは、小学生になつて再びようせ

んした。

うあつ、すげえ。

入つたらそこは、今までとはちがう世界にい

るみたいたつた。木々が日光をささえざりうす

くらくなり、こけが、まありの地をとおつて

いし、まありは緑にかこまれていた。そんな

道がしばらく続くのと、今度は、道が下きな山石

- 4、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しよは三きようめの二はんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくしよにきようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三はんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

() 月 日 曜日

の上になつた。となりを流れる川は、すきとおつていて、冷たかつた。岩をぬけることもこの道にもどつた。するところりばしにであつた。つりばしからの景色はとてきれいだつた。橋を過ぎ、山道に入るとき、やうに、きついで道に変わった。大きい岩の上をびつしりといけが、あつていた。屋久島は、こけが多い島としても有名だ。いど、あたらためてそれを実感した。上に行くまでは、けつこうきつかつた。いど、上の景色は、とておげんそつてきた。きれいだつた。

ぼくは、白谷雨水きょうへの再ちようせんを、通して、生まれ育つてきた屋久島とあつた。めつ、すごいと感じ、こくない所だつたのかと思つた。

最近、その自然のすばらしさや、ゆうたさに、ちがへて、か、屋久島への日本人観光客は、外国人観光客が増えつてきている。

ぼくは、屋久島が大好きだ。だから都市開発、な、いび、自然とこあしてほしくな、いし、も

- 4、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいちくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは一ぎようめに書き、文しようは一ぎようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらく(こと)にぎようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのぎようも二ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

（ ） 月 日 曜日

つと自然と大事にして、未来にのこしてほし
 い。そしてもつと世界中から観光客が集まる
 ように、屋久島とアビールしたい。
 えうして、「世界遺産の屋久島」そして、
 もつと自まんできるようにしたい。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなししたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましょう。

(不許複製)

